

東京地評ホームページ
QRコードでアクセス



TOKYO はたらく仲間

239

2023年3月15日
(毎月15日発行)

発行 東京地方労働組合
評議会(東京地評)

定価 1部40円(送料別)

〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10
東京労働会館

TEL 03(5395)3171

FAX 03(5395)3240

E-mail lapaz@chihyo.jp
URL http://www.chihyo.jp

23春闘の山場へ粘り強くたたかいて抜く

23春闘は集中回答日を受けてストや上積みを求める後半戦に進んでいます。物価高騰から暮らしを守る正念場として、仲間の声に依拠し粘り強くたたかわれています。今年1月の現金給与総額は27万6857円。13か月連続の上昇となるも、物価の変動を反映した実質賃金は10か月連続の減少です。物価上昇に賃金が追いついていない状況が続いています。「4・12回答押し出し東京行動(厚労省前)―成功へ取り組みを強めましょう。」

積み上げた仲間の切実な声を離さない 要求貫徹まで一気に駆けぬけよう

国民春闘共闘委員会と東京春闘は物価高に負けない、賃上げ10%を目指して3月2日、日比谷野音で「3・2中央総決起集会」を1800人で開催しました。国民春闘共闘の小畑代表幹事は「物価高騰を乗り越える賃上げなしには終われない春闘だ」と決意を強調。東京医労連書記次長の松崎

さんは「昨年50年ぶりのストで経営側を動かし、職場の支持を得た組合が今年はさらに参加者を増やして春闘に臨んでい」と、たたかってこそ労組が強くなる経験を報告しました。

早朝からストライキや職場集会・地域宣伝、回答指定日の翌3月9日、要求貫徹を掲げ職場集会やストライキ、さらに都庁要請や駅頭宣伝が取り組みました。JMI、ITU、東京医労連、建交労・京王新労の職場集会上積み求め東京行動へまた大手企業が軒並み前年を上回る回答提示に対し、中小事業者の回答額は低調です。企業ごとの回答の引き出しを粘り強く求めると共に、産別の省庁要請行動に合わせ

て4月12日に厚生労働省前で回答促進統一行動に取り組みます。



「今は賃上げが必要だな」右翼のメンバーからも激励の声

ウエスタン・アクション いま労働組合の訴えは共感を呼ぶ

西部ブロックは2月4日、新宿駅南口で労働組合の運動を可視化した地域総行動、ウエスタンBIGアクションを行いました。



国民的な賃金上げのうねりをわき起こそうと決意をかためた三多摩春闘集会

統一地方選は暮らし改善のチャンス

事務局長 井澤智

岸田自公政権は、国民を顧みない暴走政治であり、国民生活と生命・財産を危険な状況に晒しています。4月の統一地方選挙は、戦争か平和か、貧困と格差の拡大が国民生活の向上か、日本が直面する喫緊の課題と将来のあり方について、国政に大きな影響を与える重要な選挙です。

東京地評が22秋年末に取組んだ「賃金と暮らしアンケート」では、生活実態は苦しい・やや苦しいが87%、収入が前年比べて減ったが53%、月額賃上げ要求は5万円以上が8割となっています。昨年未実施した「フードバンク」のアン

ケートでは、賃上げ平均要求額は3万7763円です。岸田首相が、国民の信

道断です。「統一協会系団体」が活動を強める地域もあり、統一協会と関係のない民主的な地方議会と被害者の救済が求められています。

賃上げ求める世論を味方に 対話重視し春闘勝利を!

2月15日、小金井宮地楽器ホールにて、23年三多摩国民春闘勝利総決起集会が行われ9単産、7地域から215人が参加。主催者挨拶に立った芳賀議長は、組合の力で

選挙として位置づけます。ホームページで、各党の国政政策を学べるページをつくり、組合員と家族が選挙に参加する「気づき」を提供し、投票率引き上げの運動を展開します。

全労連国際局長の布施から「米国労働運動の経験から学ぶ組合員を巻き出し、春闘勝利を」と題して、米国レイバーノーツの取り組みや、対話の重要性について講演があり、春闘勝利へのヒントを学びました。

アピールは、東京土建、都教組、東京医労連、JMI、ITU、自治労連からされ、行動提起を戸久世事務局長が、閉会と団結がんばろうを丸山代表委員が行いました。



3.2中央総決起集会 ストライキを構え物価高騰を超える賃上げ実現を 東京春闘矢吹議長の団結がんばろう